

令和8年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名：都市計画課

シート No.：84-1

作成日：2026. 9/25

（１）総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	事務事業の背景・目的 圏央道や鬼怒川ふれあい道路等の広域交通ネットワークの進展、首都圏近接という立地特性により、産業系土地利用の需要が増加しており、新たな産業拠点の形成が急務となっています。 本事業は、新たな産業拠点を形成し、企業誘致や産業育成等を推進することで、雇用の拡大や地域経済の好循環、移住定住増加などに繋げ、市の活性化を図るものです。	事務事業の目標 大生郷工業団地北部地区において、「大生郷工業団地周辺地区基本構想」を基に、鬼怒川ふれあい道路整備、圏央道スマートＩＣ整備、防災拠点整備の各プロジェクトと相互連携し、産業団地を整備することで、主要インフラの整備と一体的なまちづくりにより、多様な機能が複合した産業拠点の形成を目指します。 また、市の負担軽減を図り、企業の立地需要を逃さないスピーディーな整備を実現するため、民間主体の事業化、早期の事業参入を促し、民間活力を最大限に生かした産業団地整備を目指します。
	施策の目標	3 快適な都市環境の整備を進める		
	施策	1 土地利用と市街地整備		
	施策内容	地域活性化に向けた土地利用の推進		
	その他、拠法令及び分野別計画等	第2次常総市都市計画マスタープラン（R6～R22） 大生郷工業団地周辺地区基本構想		
事務事業名		大生郷工業団地北部地区産業団地整備事業		

（２）アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

（３）インプット（投入）

No.	アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R 8 予算額	R 8 決算額
	活動名・事業名 （対象年）	R 8 活動・事業内容	指標名（単位）	R 8 目標値	R 9 目標値		
				R 8 実績値	R10 目標値		
①	民間事業者ヒアリング （サウンディング型市場調査） （R8・9）	民間事業者と対話を行い、産業用地としてのポテンシャルや事業参画の意向等を確認します。	対話事業者（社）	5	5	38,000 千円	千円
②	地権者説明会 （勉強会） （R8・9・10）	事業の機運を醸成させるため、地権者説明会や勉強会を実施します。	実施（回）	2	2		千円
③	地権者意向調査 （R8・9）	地権者の土地利用転換や事業の意向等を把握するため、地権者アンケート調査を実施します。	回答率（％）	90	100		千円
④	まちづくりニュース発行 （R8・9・10）	事業への理解度を深めるため、全地権者へ事業の進捗等を周知するまちづくりニュースを発行します。	実施（回）	3	3		千円
⑤	地権者組織運営支援 （R8・9・10）	地権者組織や役員会の運営支援を行います。	会議開催（回）	3	5		千円
⑥	農林調整・都市計画決定協議 （R8・9・10）	都市計画決定や法定手続きに向け、関係機関との協議を行います。	協議実施（回）	2	5		千円
⑦	関連インフラ整備協議 （R8・9・10）	鬼怒川ふれあい道路や関連インフラ整備に向け、関係機関との協議を行います。	協議実施（回）	2	5		千円
⑧	地権者同意取得率 （仮同意含む） （R8・9・10）	事業化に向け、事業への同意書を取得します。	取得率（％）	80	90		千円
⑨						千円	千円
⑩						千円	千円

（４）アウトカム（成果）

成果に関連する上記（２）の活動名・事業名（No.）	指標名（単位）	指標の設定理由と目標値の根拠 （目標値を達成することにより市として何が達成されるか）	R 7 現状値	R 8 目標値	R 8 実績値	目標年度
						目標値
①～⑧	造成完了までの事業進捗率（％）	新たな産業拠点を形成し、気を逃さない企業誘致を図るため、早期での事業化及び造成完了を目指します。	20	30		令和9年度
						40%

（５）目的・成果の達成に向けた点検・改善

業務の振り返り	改善の余地	今後の方向性
	☐ コスト ☐ 活動 ☐ 成果 ☐ その他	